

大会特別規則（試合方法）

- (1) 試合は、トーナメントとする。
- (2) 一日1投手の投球数は、70球以内とする。また投手が4年生以下の場合には60球以内とする。
ただし、当該打者の終了までの投球は認める。
- (3) 試合は6回戦とする。
- (4) 試合時間は90分とし、80分を経過した場合は新しいイニングに入らない。
(注) 決められた時間が経過したら、回数に関係なく正式試合となる。
- (5) コールドゲームは、3回以降、10点差、4回以降7点差以上の時に適用する。
(3回もしくは4回を終了するか、3回表もしくは4回表終了した時点で後攻側の得点が先行側の得点より多い時はコールドゲーム成立とみなす)
- (6) 暗黒、降雨、光化学スモック、その他の事情で試合続行不可能になった場合、4回終了以前ならばサスペンデッドゲームとする。投手の投球数は継続しない。
但し、4回を終了するか、4回表を終了した時点で後攻側の得点が先行側の得点より多い時はゲーム成立とみなす。
- (7) 延長戦は行わず、1イニングのタイブレーク方式を行う。正位打者が打撃を行い、得点を争う。前回の最終打者を一塁走者、その前の打者をそれぞれ二塁、三塁の走者とし、一死満塁の状態にして行う。(代打・代走は自由)なお、決しない場合は抽選とする。
- (8) 使用ボールは、公認J号球とする。
- (9) ヘルメットは必ず、打者、次打者、走者、走塁コーチとも着用のこと。チームで7個以上用意のこと。
- (10) 金属製バットは、公認（JSBBマーク入）のものに限る。
- (11) 捕手用マスク及びヘルメットは、危険防止のためにも公認のものを着用すること。
- (12) プロテクター・レガース・スロトル・ファールカップは危険防止のために着用すること。
- (13) スパイクは、金具のついたのは使用できない。
- (14) 抗議ができるのは、監督と当該プレイヤーのみとする。
- (15) DH制を採用します。
- (16) 公認規則5.10(d)〔原注〕「同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることはできないし、投手に戻ってから、投手以外の守備位置に移ることもできない。投手以外の負傷退場した野手に代って出場したプレイヤーは5球を限度としてウォームアップが許される。」の前段は採用しない。したがって、投手の守備位置の交代は自由である。
- (17) 申告故意四球を採用する。(監督よりの申告) その場合の球数はカウントしない。
- (18) その他は、2024年野球規則で行う。

注意事項

- (1) 試合予定日・開始時間は下表のとおりとします。

		第一試合	第二試合	第三試合	第四試合
	8:15～	9:00～	10:30～	12:00～	13:30～
10日(土)	開会式	①	②	③	④
11日(日)		⑤	⑥	⑦	⑧
12日(月)		⑨	⑩	⑪	⑫
17日(土)		⑬	⑭		
18日(日)		⑮	閉会式		
24日(土)	予備日				

- (2) ベンチは抽選番号の若いチームを一塁側とする。
- (3) 試合中のヤジ等については、指導者が十分注意すること。
- (4) 走塁コーチは登録選手が行う。
- (5) 試合前のシートノック及びバッティング練習等の時間は特別には設けない。
- (6) グラウンド以外でのキャッチボール、バッティング等の練習は禁止する。
- (7) 試合開始予定時間30分前には集合のこと。
- (8) メンバー表には、先発の9名及び、交代要員全員を記入する。出場申込書によって登録の有無を確認する。登録選手の10名以上がベンチ入りすること。
- (9) メンバー表は、大会本部が用意します。
試合当日、会場に到着を本部に報告した時、受け取ること。